

会派/質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者		
至誠会 西村 好高 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午前10時～	公共施設	市民が集う公園整備について	① 本市には子ども達が集い遊ぶ大型遊具が設置されている公園が皆無である。本市の最重要課題である人口減少対策には子育て環境整備が重要であり、子育て世代の保護者からの要望が多い大型遊具を設置した公園整備を検討してはと考えるが所見を伺う。	市 長 担 当 部 長		
			② 最近公園に「高齢者向け健康遊具」を設置している自治体が増えている。健康寿命を延ばしていただくためにも検討してはと考えるが所見を伺う。			
			③ 施設整備の財源として、市民の皆様からの寄附や企業版ふるさと納税等の活用について所見を伺う。			
	地域振興	小学校跡地利活用の今後について	① 閉校となった11校のうち、地域活性化センターの7校とそれ以外の4校の現状について伺う。			
			② 閉校から概ね10年は地元で活用するとの方針であったが、令和6年度で10年が経過する。令和7年度からの利活用や運営について地元組織と協議されているが状況を伺う。			
			③ 閉校となった小学校は地元を愛する先人の思いが詰まった施設である。今を生きる我々にとっても地域活動の様々な拠点であり、地域の賑わいの拠点となるべき施設である。他の公共施設と背景や性質が違うことから、当然に予算削減を主眼に置くべきでないと考えが所見を伺う。			
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午前11時～	行政	新庁舎建設等について	① 新庁舎建設の現状を伺う。	市 長		
			② 資材高騰等による建設費用の増額は避けられない。対応を伺う。			
			③ ロシアのウクライナ侵略や円安による物価高騰の影響で、あらゆるところに影響が出ているが、市長の所見を伺う。			
	地域振興	地域おこし協力隊の現状について	① 本市における地域おこし協力隊員の現状を伺う。		市 長 担 当 部 長	
			② 地域おこし協力隊員の待遇等に関する状況を伺う。			
			③ 地域おこし協力隊員の本市への定住率を伺う。			
④ 本市における地域おこし協力隊員の募集はどの様に行っているのか。						
日本共産党 南丹市議会 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午後1時～	市長の 市政執行の 基本姿勢	B&G財団との関係性について	① 創立者、故笹川良一氏は、旧統一教会と表裏一体の国際勝共連合名誉会長。かつてのような銅像建立等の予定は。	市 長 担 当 部 長		
			② 旧統一教会関連行事の市内開催の有無、市の後援等は。			
	ゴミ行政	南丹/京丹波のゴミ行政の全容について	① H3年3月に17.6億円を投じて竣工したクリーンセンターが稼働停止し、カンポリサイクルプラザにゴミ処理を委託したのはいつか。			
			② カンポリサイクルプラザが解散し、衛生管理組合にゴミ処理を返上したのはいつか。			
			③ 京都市、城南衛管に受け入れを断られ、現在三重の民間業者にカンポを通じて搬入している。負担増の総額は。			
			④ ビニールゴミは、最終焼却されていると聞くが事実か。			
	高齢者福祉	加齢性難聴者の補聴器補助制度創設を	⑤ なぜ、南丹京丹波のゴミ袋料金は、近隣市町の2倍以上も高いのか。理由を聞く。			
			① 高齢者難聴にかかわる補聴器への補助制度創設を求める。			
			② 高齢難聴者の実態把握が必要。今年度実施予定の「高齢者福祉計画改定直前調査」の調査項目に入れるよう求める。			
			③ 京都市、城南衛管に受け入れを断られ、現在三重の民間業者にカンポを通じて搬入している。負担増の総額は。			
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午後2時～	行政	新庁舎建設について	① 現在の工事進捗状況を伺う。	市 長 担 当 部 長		
			② 物価高騰等による建設費用への影響を伺う。			
	公共交通	地域内交通の今後について	学生や高齢者、免許返納者など、市内の交通手段に不便を感じておられる声を聴く。広大な面積ではあるが、それを解決する術としてICT・AIの技術活用が効果的ではないか。先進事例も参考に、本市としても取組みを進めるべきと考えが、見解を伺う。			
			地域振興施設の有効活用について		コミュニティプラザよしみについて、施設利用の現状と今後の有効活用について伺う。	
			地域振興等を支援する人材および取組みについて		デジタルお助け隊や地域おこし協力隊、集落支援員など多様な人材による支援を行っていただいている。本市が取り組んでいる、地域への人材による支援メニューについて伺う。 隊員や支援員同士での横断的な取組みについて伺う。	
			区要望のデジタル化について		デジタルお助け隊に協力いただき、区からの要望書をデジタル化する事により、双方の効率化や要望の見える化等が図れると考えるが見解を伺う。	
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午後3時～	市民サービス	市民からの情報提供について	① 市民からのご意見箱やライン等への情報提供の現状は。	市 長 担 当 部 長		
			② 対応状況について公表はなされているか。			
			③ ラインを利用した情報提供に位置情報を含めて送信できるものや、マイシティレポートサービスなどのアプリがあるが、今後検討していく考えはないか。			
	コロナ対策	コロナ禍における生活支援について	① コロナ陽性者が増加する中、陽性者及び濃厚接触者の日常生活支援の状況は。			
			② 自宅療養者や濃厚接触者に対する配食サービス、買い物代行サービスを実施する考えはないか。			
		コロナ禍における介護サービスについて	① コロナ禍における在宅介護サービスの実施状況は。			
			② 自宅療養者や濃厚接触者に対する在宅介護サービスの方針は。			
	市役所におけるコロナ感染予防対策について	来庁者や職員間における感染予防対策の現状は。				
	活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 9月6日 午後4時～	農林業	土地改良施設の老朽化について		土地改良施設の機能点検は定期的に行っているか、また施設の老朽化はどの程度把握しているか伺う。	市 長 担 当 部 長
					老朽化対策について	
教育		教職員の働き方改革について	① コロナ禍を経験した後の、教職員のワークライフバランスや働き方改革の現状について伺う。	教 育 長		
			② 教職員の働き方に対する意識改革については、どのような点を重視しているか伺う。			
			③ GIGAスクール構想など、ICT機器を使う機会が増えているが、教職員の負担をどのように受け止めているか伺う。			

会派/質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
堤 博明 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午前10時～	福祉	高齢者の移動支援について	① 令和4年3月定例会における市長の答弁で、国や府へ陳情要望し制度設定が可能か検討するとの事だったが、進捗状況や今後の見通しを伺う。	市 長 担 当 部 長
			② 地域で移動支援事業に取り組んでおられる。事業対象外の方が多く運営が厳しい状況にあるが、市の見解を伺う。	
			③ 安心して暮らせるよう対象者の幅を広げた市民サービスを検討してはどうか。	
	農業	八木バイオエコロジーセンターの消化液について	① 消化液の処理コストを減らし、農家が必要とする質の高い消化液の生産に向けた分析をされてはどうか。	市 教 育 長 担 当 部 長
教育	子どもの農業体験について	② 農業者をサポートする観点から、説明会や相談会、対策や支援などを検討されているか伺う。		
至誠会 仲村 学 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午前11時～	防災	防災無線の運用について	火災発生時において、防災無線受信機からのサイレン吹鳴放送が消防団員の迅速な出動に必要なだと考える。日吉地域では、放送が無くなったことで火災に気付かず出動遅れや消火人員不足の事態も聞くが、今後の対応を伺う。	市 教 育 長 担 当 部 長
	公共交通	列車本数と車両数について	① 列車の減便や減車が原因で車内が混雑し、座れない、乗車できないなどの苦情を聞く。現状や今後の対策を伺う。 ② 同じ原因でソーシャルディスタンスが確保出来ない状況についても伺う。	市 長 教 育 長
	教育	学校の部活動について 教員不足について	公立中学校の部活動の地域クラブ等への移行が国から提言されたが、部活内容や受け皿など今後の計画について伺う。 全国で教員不足が問題となっている。本市の現状や今後の対策を伺う。	教 育 長 担 当 部 長
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午後1時～	道路管理	道路管理について	① 市道において、側線やセンターラインが消えており危険な状態になっているところがある。早急な修繕が必要であると考えているが。 ② 道路を横断する水路のグレーチングや狭い生活道路の側溝に設置された鉄板が経年劣化により、変形し隙間ができ、車が通るたびに大きな音がするため、近隣住民が困っている。早急な修繕が必要であると考えているが。	市 長 担 当 部 長
	危機管理	災害時のトイレ問題について	① 災害時におけるトイレの確保や整備はできているか。また、避難所において、断水時のトイレ機能は保有しているか伺う。 ② 移動式「トイレトレーラー」配備の考えは。	
	医療・福祉	「サニタリーボックス」の設置について	「サニタリーボックス」(汚物入れ)を市役所や公共施設の男性トイレに設置してはどうか伺う。	
日本共産党 南丹市議会 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午後2時～	防災	新型コロナ感染拡大防止策	① 現状までの経過状況の認識について。 ② 感染拡大、再発防止に向けての具体的な方策と広報について。 ③ 後遺症への啓発について。主な後遺症の特徴について。後遺症の対策に関して具体的な内容とその広報について。	市 長 担 当 部 長
			教育・福祉	
	保育	知井保育所について	8月8日付「みやま保育所保護者会要望についての回答」に関して、 ① バス送迎時間について。 ② バス送迎の場所移動について。 ③ 保育時間の変更について。 ④ 園児の検診について。	市 長 担 当 部 長
新風会 木村 裕 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午後3時～	地域の活性化 と人材確保	地域活動への学生の参加	本市は学生のまちでもある。大学・大学校・高校などで学ぶ学生が、地域活動に参加する場面を拡大し、地域側も学校との関わりを深めていくべきである。	市 長 担 当 部 長
		地域活動でのシニア世代の活躍	本市の高齢化率は高い。豊富な経験と知識を有するシニア世代の活躍の場を、地域においても確保し、地域社会の維持・活性化に貢献してもらわなければならない。	
		地域活動を支える女性たち	地域での女性組織は減少してきているが、女性は生産活動のほか、文化・文芸活動などでもその存在感は大きい。新たな形で、女性に地域活動を支えてもらう必要がある。	
		様々な人材にも地域活動を支えてもらう	市内勤務者をはじめとした交流人口や関係人口にも地域活動を支えてもらうことを展望する。	
府道竹井室河 原線(鎌掛峠) バイパス整備	本市まちづくりに係る基本計画での位置づけ	本市総合振興計画をはじめ新市建設計画、都市計画マスタープランなどの基本計画で、当該エリアの土地利用及び道路ネットワーク計画をさらに明確にする必要がある。	市 長 担 当 部 長	
	整備促進を強化するための体制整備	バイパス整備により、土地利用及び道路ネットワーク化が推進され、その整備効果の及ぶ範囲は広がる。強力に整備促進を図るため、推進体制の強化を図る必要がある。		
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 9月7日 午後4時～	福祉	障がい者の外出支援について	① 「南丹市高齢者等生活支援事業実施要綱」で定める「外出支援サービス事業」では、第13条「利用対象者」として、「おおむね65歳以上の高齢者又は心身に障害がある者で、歩行や移動が著しく困難な者」と定めているが、この「心身に障害がある者で、歩行や移動が著しく困難な者」とは、具体的にどのような対象者なのか。	市 長 担 当 部 長
			② 同要綱第6条の別表では、外出支援サービス事業の移送範囲として、「南丹市内・京丹波町内・亀岡市内・綾部市内・京都市の一部(京北町内)」と規定しているが、その理由は。	
		③ 専門的な治療を受けられる医療機関の多くは、別表で定める移送範囲外(特に京都市内)に多く立地している。「京都市内への専門的な医療機関まで行って欲しい」との利用者の声もあると聞く。移送範囲を拡大すべきと考えるが。		
		④ 障がい者の「生活行動範囲の拡大と社会参加の促進」を目的に、対象者に福祉タクシー利用券を交付しているが、その対象者の一つに、「精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者で、その障害程度が1級の者」とされている。2級も対象にすべきと考えるが。		
成年後見制度の利用促進について	本市では、「市民後見人」の育成や「市権利擁護・成年後見センター」の設置など、成年後見制度の利用・促進に積極的に取り組んでおり、このほど、2名の市民後見人が「成年後見人」として活動されることとなったことは、これまでの取組みの大きな成果の一つと言える。それを踏まえて、下記の点について伺う。 ① 成年後見制度における「市民後見人」の意義について、どのような認識か。 ② より多くの市民後見人候補者が活躍できるような取り組みが必要と考える。市長の所見は。また、どのように取り組むのか。市社会福祉協議会が取り組む「法人後見」や「日常生活自立支援事業」との連携も有効と考えるが。 ③ 「成年後見制度」のより積極的なPR、広報が必要と考える。市長の所見は。また、どのように取り組むのか。			

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午前10時～	まちづくり	まちづくり協働員について	市長は今後の市政運営の重点項目の一つとして「市民協働によるまちづくり」を中心に据え、まちづくりに市民参画を引き出すためのキーパーソンとなる「まちづくり協働員」を新たに委嘱すると述べられているが、「まちづくり協働員」の具体的な活動や地域との関わりについての考えを伺う。	市 長 担当部長
	教育	学力実態について	① 全国学力テストの結果が出ていると思うが、京都府や全国の平均と比べて、本市の結果とそれを捉え教育長の考えを伺う。 ② 6月定例会において、若い教員が多く本市の学力は全体的に高い部分ではないと答弁されたが、若い教員が増加しているのは府下全域の現状ではないかと考える。この状況に対する教育委員会の対策はあるのか。長である教育長の考えを伺う。 ③ 夏休み中に、教育委員会として実施した研修内容を伺う。	教 育 長
	道路	国道477号バイパス事業について	① 国道477号バイパス全線完成を目指し、未供用区間の工事が進められている。現国道477号との交差点の安全対策として信号機設置を地元より要望されている。現状について伺う。 ② 全線完成供用開始に伴い、今後の現道国道477号の考えを伺う。	市 長 担当部長
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午前11時～	農業	農畜産物生産の現状について	本市の現状を見ると、農畜産業は不安な状況が続いている。市としても朝倉山椒等特産品作りに取り組みられているが、普及状況等を踏まえ、現状を伺う。	市 長 担当部長
		市独自のブランド戦略について	農畜産業の活性化には、市独自のブランド作りが有効であると考え、市としての見解を伺う。	
		地域産業の活性化について	コロナ禍においての国の方針も変化し、対策しながらではあるが行動制限も緩和され、本市を訪れていただく機会が増える予想できる。本市内外に生産物のアピールができれば地域の様々な活性化にもつながると考える。市として地域農畜産業の活性化に向けた取り組みをどう考えるか。	
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午後1時～	林業	林業振興について	現在の本市の土地利用率は、宅地1.2%、農地4.7%、山林87.6%である。多くの山林を有する本市であるが、近年、林業を取り巻く環境は厳しく、林業は衰退産業であると言われる。一般的に言われる木材価格の長期低落傾向、育林・林業経営の意欲低下、後継者の林業離れの流れの中で、山林に囲まれた地域が潤い、住民が豊かに暮らせる住んでよかったと言える地域にするには、本市の9割近くを占める山林資源の有効活用が不可欠と考える。また、森林再生、森林経営、地方創生の鍵として期待され、全国的に広がっている自伐型林業についても、本市の林業のプロでもある地元林業関係者との意見交換・情報共有等の官民一体となった取り組みが必要と考えるが本市の見解を伺う。	市 長 担当部長
	行政	生活弱者に配慮した市政運営について	JRの駅は、様々な利用者がある。その中で、JR駅及び周辺施設において、障がい者・高齢者等に配慮不足と感じる施設がある。たとえば、JR園部駅西口は、市のバス停、タクシー乗り場の停車場所表示はあるが、障がい者用バス停等の停車場所表記がなく停車しにくい状況がある。また、JR胡麻駅では、線路をまたぐ高架があり、階段を上るのが厳しい高齢者、歩行が困難な方にとって大きな負担となっている。早急な対応が必要と考えるが本市の見解を伺う。	
		市道整備について	市道は、市民の生活道路として重要な道路である。日常点検や大雨時の点検は、随時対応いただいているが、近年、道路に木の枝等が張り出しており、大型車の通行の妨げになっている場合がある。交通安全と地域景観の観点からも何か手立てが必要と考えるが、本市の見解について伺う。	
つなぐ 小中 昭 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午後2時～	農業	有害鳥獣対策について	有害鳥獣防除施設(金網ネット等)が設置されてきたが、市道など設置できない個所からのイノシシ等の侵入が多く見受けられる。昨年9月議会でも同様の質問をしたが、グレーチング状の物を市道等に設置することで侵入を防ぐことができる事が実証されている。公道(府・市道)に設置した場合の安全性についてが課題であるとのことであった。一年が経過したが、現状について伺う。	市 長 担当部長
	医療	国保南丹みやま診療所について	本年4月で市直営になって1年が経過した。京都中部総合医療センターからの医師派遣もあり診療科目も増え医療体制も整った。コロナ禍ではあるが患者数もあまり減っていないと聞く。経営を圧迫していると思われる個所の見直しも今後必要と考えるが、市長の見解を伺う。また、トーマツの経営診断が行われたと聞くが、結果はどうであったか。	
	観光	観光案内看板の設置について	京都縦貫道園部ICを出た、府道園部平屋線に観光案内看板があるが非常に目につきにくい看板が設置されている。また、あらたに歩道橋に看板が新設されたが非常に目につきにくい。もう少し工夫が必要と考えるが、市長の見解を伺う。	
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午後3時～	保険医療・福祉	新型コロナウイルス感染症における対応について	① 新型コロナウイルス感染症に感染した人は、急遽仕事を休まなければならない事態に陥る。そうした時にどこに連絡と相談をすればよいのかなど、大変不安になるのではないかと考える。そうした相談支援と周知状況について伺う。	市 長 担当部長
			② 新型コロナウイルス感染症に感染した人は、生活だけでなく多くの場面で負担が増えるのではないかと考える。食糧支援体制も含め、市の見解を伺う。	
			③ 医療用抗原検査キット確保状況について伺う。	
	地域	地域活性化に向けて	各地域の活性化に向け、地域と観光を結び付けた取り組みや観光協会や各団体との連携も踏まえ、さらに本市の地域を発信していく仕組み作りと市内周遊観光に向けた取り組みが必要と考えるが、市長の見解を伺う。	
行政	広域連携と産官学・官民連携について	近年、多くの市町村では、単独で様々な施設運営をするのではなく、近隣市町村との広域連携での施設管理をする取り組みが進んでいる。本市においてもそうした取り組みが、財政的にもさらに必要になってきているが、一般廃棄物処理施設等も含め、市長の見解を伺う。また、産官学連携や官民連携の事業推進による地域活性化など、それぞれがお互いの強みを生かした最適な公共サービスにつながる可能性も含め、今後の取り組みが必要ではないかと考えるが、市長の見解を伺う。		
樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 9月8日 午後4時～	まちづくり	中心市街地の活性化について	① 行政が特定地域に対して行う重点投資は、短期的な視点に於いては不公平な分配と捉えられがちであるが、中心市街地の活性化を目的とする重点投資は、市街地の商業的価値を向上させ、市の歳入である固定資産税の増収に繋がる。これを市全体に事業予算として分配することで、長期的視点に於いて結果の公平性を得られると考える。市街地への重点投資に対する市長の考えを伺う。	市 長
			② そのべお城通り(宮町通り)が、現在の特殊なデザイン(歩道幅10m超)になった経緯(当初計画)と今後の活用計画について伺う。	
		中心市街地の安全性について	① そのべお城通り(宮町通り)では、歩道を分離する構造体の視認性が悪いため、車両との接触事故が、あとを絶たない。このことが地元では道路開通以来長年にわたる懸念事項となっており、安心安全に利用して頂ける商店街を目指す中、早急な改善が必要であると考え。	担当部長
			② 住宅等が密集する市街地エリアには、建築基準法上の2項道路(みなし道路)が数多く存在する。また既存の2項道路内にはブロック塀等の固定物が多く見られ、周辺住民にとって緊急時に消防車や救急車が進入できないという安全性の問題がある。また道幅が狭い為、車両の進入が困難であるという利便性の問題が、建替え等、土地活用の障害となり経済的損失を生んでいると考える。ブロック塀等の既存道路内固定物の全撤去は現実的に困難であると考え、所有者に建築基準法上の道路境界位置を知らせることで、移動可能な物品の撤去など通行状況改善の協力を仰ぐことはできないか。	
中心市街地の利便性について	③ 住宅密集地道路側溝について、高齢化などにより、これまで実施されてきた地域での溝掃除では追いつかず、周辺住民は災害時の排水能力に対して不安を募らせている。また地域で掃除することが不可能な交通量の多い幹線道路を横断する水路などは、長年手付かずになっており機能不全をおこしている排水路も存在する。このように自助共助だけでは賄いきれない部分に関しては排水機能を維持するための公助(予算化)も並行して行う必要があるのではないかと考える。	市 長		
中心市街地に存在する公共施設の駐車場(例:アスエル園部)を夜間限定で有料化することで、駐車場不足問題を抱える既存飲食店等の利便性向上と、地域への新規事業参入の需要を喚起することができるのではないかと考える。				